

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和8年1月1日～令和8年7月20日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 8 年	141	23	1	59	80	163
令 和 7 年	156	29	3	75	74	181
前 年 同 期 比	-15	-6	-2	-16	6	-18

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	15	10.6%	1	0	7	11	19
	後立山	46	32.6%	13	0	18	27	58
	その他	10	7.1%	1	0	7	3	11
計		71	50.4%	15	0	32	41	88
中央アルプス		10	7.1%	0	0	4	7	11
南アルプス		1	0.7%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰		18	12.8%	4	0	7	9	20
その他の山岳		41	29.1%	4	1	15	23	43
計		141		23	1	59	80	163

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	41	29.1%	8	0	36	0	44
転 倒	20	14.2%	0	0	20	0	20
病 気	10	7.1%	4	0	0	6	10
道 迷 い	23	16.3%	0	0	0	33	33
落 石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪 崩	3	2.1%	2	0	1	0	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	16	11.3%	2	0	0	14	16
不明・他	28	19.9%	7	1	2	27	37
計	141		23	1	59	80	163

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	1	5	6	32 29.1%	0	0	0	3	3	19 35.8%	9	51 31.3%
20代	2	0	3	14	19		0	0	1	4	5		24	
30代	1	0	2	4	7		1	0	2	8	11		18	
40代	4	0	9	7	20	41 37.3%	1	0	2	1	4	19 35.8%	24	60 36.8%
50代	5	0	8	8	21		1	0	9	5	15		36	
60代	5	0	8	12	25	37 33.6%	2	0	4	2	8	15 28.3%	33	52 31.9%
70以上	1	1	6	4	12		0	0	4	3	7		19	
計	18	1	37	54	110		5	0	22	26	53		163	
比 率	67.5%						32.5%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（7/13～7/20）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
7月13日	北アルプス 北穂高岳	男	67	死亡	発病	北穂高岳付近の山小屋内で倒れ、意識不明、7/14救助
7月15日	ハケ岳連峰 天狗岳	男	27	負傷	転倒	2人パーティで天狗岳から下山中、岩場でバランスを崩し、転倒、負傷
7月15日	北アルプス 前穂高岳	男	49	負傷	滑落	単独で前穂高岳から下山中、岩場でバランスを崩し、滑落、負傷
						上記遭難現場写真
7月15日	北アルプス 唐松岳	男	85	負傷	滑落	2人パーティで八方池から下山中、岩につまずき、滑落、負傷
7月15日	北アルプス 白馬岳	男	78	負傷	滑落	単独で白馬大雪渓を登山中、小雪渓上でスリップし、滑落、負傷
						上記遭難現場写真
7月16日	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	70	負傷	滑落	2人パーティで白馬乗鞍岳から下山中、雪渓上でスリップし、滑落、負傷
7月16日	中央アルプス 木曽駒ヶ岳	女	58	負傷	転倒	2人パーティで木曽駒ヶ岳から下山中、浮き石でバランスを崩し、転倒、負傷
7月17日	北アルプス 唐松岳	女	60	負傷	転倒	4人パーティで五竜岳に向け牛首付近を縦走中、岩につまずき、転倒、負傷
7月19日	北アルプス 布引山	男	48	負傷	転倒	単独で冷池から五竜岳に向けて縦走中、岩につまずき、転倒、負傷
7月19日	北アルプス 白馬鍵ヶ岳	男	46	負傷	転倒	2人パーティで白馬鍵ヶ岳から猿倉に向けて下山中、浮き石でバランスを崩し、転倒、負傷
7月19日	北アルプス 焼岳	女	51	負傷	転倒	2人パーティで焼岳から上高地に向けて下山中、岩につまずき、転倒、負傷

7月19日	経ヶ岳	男	63	死亡	不明	単独で登山中、何らかの原因により、行動不能
7月19日	霧ヶ峰高原 八島ヶ原湿原	男	53	無事救出	発病	単独で八島ヶ原湿原周辺を登山中、体調不良により、行動不能
7月19日	南アルプス 笠松山	男	58	負傷	滑落	2人パーティで笠松山から便ガ島へ向け下山中、スリップし、滑落、負傷
7月20日	北アルプス 燕岳	男	57	負傷	転倒	単独で燕岳へ向け登山中、岩につまずき、転倒、負傷
7月20日	北アルプス 針ノ木岳	男	62	負傷	転倒	単独で針ノ木岳からスバリ岳へ向け縦走中、ザレ場でスリップし、転倒、負傷
7月20日	北アルプス 槍ヶ岳	男	60	無事救出	疲労	5人パーティで北鎌尾根を登山中、脱水・疲労により、行動不能
7月20日	北アルプス 槍ヶ岳	男	53	無事救出	その他	5人パーティで北鎌尾根P11付近を登山中、リーダーの男性が行動不能（上記遭難）となったため、技量不足により、行動不能
		男	56			
		男	43			
		女	51			
						上記遭難現場写真
7月20日	北アルプス 槍ヶ岳	男	66	無事救出	疲労	3人パーティで槍ヶ岳に向け東鎌尾根を登山中、疲労により、行動不能
7月20日	八ヶ岳連峰 根石岳	男	74	負傷	転倒	単独で根石岳に入山し、根石岳周辺の山小屋内で転倒、行動不能

先週県内では、20件の山岳遭難が発生しました。

県内各地で遭難が相次ぎ、特に北アルプス周辺では、滑落や転倒による遭難が多発しました。また、脱水や疲労による遭難も複数件発生しています。

7月20日、北鎌尾根での遭難を例に挙げると、5人パーティで行動中、チームリーダーの男性が疲労や脱水などの症状で行動不能に陥り救助要請、その後、残された他のメンバーも、「技量不足」で行動不能となり、全員がヘリコプターにより救助されています。

北鎌尾根は槍・穂高連峰周辺のバリエーションルートの集大成のようなルートです。一つのミスが重大な遭難に直結します。入山にあたり、絶対的な体力は必須条件です。尾根に上がればエスケープルートはありません。長大な尾根を「進む」か「戻る」の選択肢のみです。不安定な岩場のきわどいトラバースやアップダウンの連続など、長時間の緊張下では、気力や体力が疲弊します。そうした中で、ルートファインディングや天候に応じたロープ確保などを、適切に判断する経験が必要となります。体力・経験を磨き信頼できる仲間と一緒に挑戦してください。

長野県では7月20日に梅雨明けを迎え、夏山シーズン本番となりました。自身の体力・技術に応じた無理のない登山計画を立てましょう。「ゆとり」ある計画や行動が、安全な登山に繋がります。